

場 所 島 菌 邸 しまぞのてい

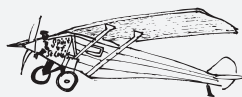
国登録有形文化財。

生化学者である島菌順雄(1906-1992)の自邸として昭和7年(1932)に建設。設計は銀行建築の名手、建築家・矢部又吉(1888-1951)。表は洋館、その後ろには生活のための和館がつながった、和洋併置の住宅。当初は平屋だったがその後、2階部分が増築され、いまの姿となる。

現在は、たてもの応援団の協力により

月2回の公開がなされている。

(東京都文京区千駄木3-3-3)



大海原さえ
誰かにとっては狭く険しい一本道で、
家は時として広大だ。

リンバークたちの飛行

Der Flug der Lindberghs

ゲッコーパレード

出張公演

家を渉る劇 いえをわたるげき vol.1

作=ペルトルト・ブレヒト 訳=岩淵達治

演出=黒田瑞仁 柴田彩芳 本間志穂 渡辺瑞帆 市松 古賀彰吾

出演=河原舞 崎田ゆかり 林純平

主催=ゲッコーパレード 企画=ゲッコーパレード、本橋仁、渡辺瑞帆 共催・衣装提供=YUMIKA MORI

後援=蕨市、蕨市教育委員会 協力=たてもの応援団 研究助成=日本生活学会・生活学プロジェクト

演劇公演

日 時 2017年

10月12日(木) - 17日(火)

ゲッコーパレード
☆
GECKO PARADE

2016年12月、埼玉県蕨市の旧加藤家住宅にて「戯曲の棲む家」シリーズ第5弾としてゲッコパレード版『リンドバークたちの飛行』は初演された。演劇誌『悲劇喜劇』誌上の2016年の演劇シーンを総括する対談でとりあげられるなど、大きな話題となった。＊
 そんな本作が、「家」を渉る劇として再び演じられる。その舞台となるのは、昭和の洋館・島蘭邸。ニューヨーク、パリ、埼玉県蕨市から、東京都文京区へと、劇は渉る。舞台表現集団と建築史家、セノグラファーによる建築と演劇の邂逅を試みる共同企画。これはその第1章である。
 ＊徳永京子、佐々木敦「演劇シーンの現在地・二〇一六」(『悲劇喜劇』2017年3月号、早川書房 所収)

photo by 瀬尾竜司

作＝ベルトルト・ブレヒト
 訳＝岩淵達治

演出＝黒田瑞仁 柴田彩芳

本間志穂 渡辺瑞帆(青年団)

市松(砂と水玉)

古賀彰吾(劇団ドクトベツバ)

出演＝河原舞

崎田ゆかり

林純平

照明協力＝磯野いるか

記録映像＝絵空衣音

制作＝岡田萌

制作補助＝川口潮奈

衣装提供＝YUMIKA MORI

1927年、チャールズ・リンドバーク(1902-1974)はニューヨーク・パリ間、無着陸の大西洋横断飛行を成功させ世界を驚かせた。飛行時間は、33時間29分にも及んだという。そのわずか2年後、ドイツの劇作家ヘルトルト・ブレヒト(1898-1956)は、このアメリカ人青年の業績に取材し、ラジオ教育劇として一本の戯曲を書き上げた。そして90年の時を経て、6人の演出家が千駄木の洋館で一まるでリンドバークを大洋の上空で待ち受けた困難の数々のように一部屋ごとにシーンを用意して待ち受ける。鑑賞者はリンドバークと共に島蘭邸に飛び立ち、海を越える大冒険にでかける。

ゲッコパレード

出張公演

家を渉る劇 いえをわたるげき vol.1

リンドバークたちの飛行

日時 2017年 10月12日(木) - 17日(火)

	12日 (金)	13日 (金)	14日 (土)	15日 (日)	16日 (月)	17日 (火)
12:00			●	●	●	●
14:00		●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	
19:00	●	●	●			

開場は開演の15分前 上演時間は60分を予定しております。
 各回定員10名 / 上演中に階段の上り下りなど、室内の移動がございます。予めご了承ください。

チケット (前売り・当日共通)

○料金 3,500円

○プチ・パトロンチケット 4,500円

(特典はありません。このチケットのご購入が団体の継続的な活動につながります。ぜひもう一押し、応援ください。)

○高校生以下 500円

○蕨市民 1,000円

(身分証をご提示ください)

チケット予約

専用フォームよりお申込みください。

<https://www.quartet-online.net/ticket/lindbergh/>

お問い合わせ

電話 080-3488-4197(制作) メール geckoparade@gmail.com

ウェブ <http://geckoparade.com/> Twitter @geckoparade



2015年に結成された、舞台表現のための集団。岡田萌、河原舞、黒田瑞仁、崎田ゆかり、柴田彩芳を中心に活動。名前の由来は「目的ではなく人の集まりこそがパレードのように活動や表現を形成していく」という信条から。ゲッコはヤモリの英名。本拠地は埼玉県蕨市にある旧加藤家住宅。2016年には同住宅での「戯曲の棲む家」シリーズ5作品を発表し、2017年にはパー、リゾートホテル、銭湯跡廃墟など特徴ある場所での上演活動を展開している。

家を渉る劇

文化財として保存され、生活が凍結された住宅。そこに一編の戯曲が、物語と役者、観客を連れて訪れる。人々の行為が持ち込まれ、つかの間、その家屋は自分が建築であることを思い出すのではないか。『リンドバークたちの飛行』と共に家々を歴訪し、その出会いと変貌を観察する。移動型の連続プロジェクト。



場所 しまぞのてい 島蘭邸
 国登録有形文化財

〒113-0022

東京都文京区千駄木3-3-3

東京メトロ千代田線「千駄木駅」

1番出口から徒歩3分

JRほか各線

「日暮里駅」「西日暮里駅」から

徒歩15分